

[IVY Item - 3] レタードニット

所属する大学や寮、クラブチームの頭文字のセーターを着る。文字は選びではなく属していた証だ。



クルーネック Used

葡萄を象ったかのようなびつなシニールは、色が染み雰囲気が出ている。1万290円 (ラムホール ☎03-5489-6567)



クルーネック Used

リブと同色の "C" のレターシニールがザクザク編まれたニットにマッチ。1万290円 (ロストヒルズ ☎03-5410-2300)



カーディガン Used

両前身頃、腕とシニールでカスタムされたカーディガン。色が鮮やかでいい。2万4800円 (古着屋セブン代官山 ☎03-6415-8118)



クルーネック Used

左腕の3本ラインがアクセント。色味を統一した各所のシニールにカレッジの香りを感ずる。1万6695円 (フォボス ☎03-3797-5822)

[IVY Item - 4] ホワイトパンツ

チノーズと同じ頻度で本書に登場するのがホワイトパンツ。スタイリングに清潔感を与えるアイテムだ。



PT05

PT01の5ポケットライン、PT05 (ピーティーゼロロチンクエ)。3万5700円 (エリオポール代官山メンズ ☎03-3464-6480)



アナトミカ

股まわりのドレープとステッチの入り方がアナトミカ流。2万3100円 (ディストリクト ユナイテッドアローズ ☎03-5464-2715)



ストロングホルド

ワークウェアから選ぶのも面白い。2004年に復活した老舗ブランド。4万5150円 (バーニッシュ ☎03-3468-0152)



リー

定番のリーも、ホワイトコーデロイをチョイスすると様変わり。1万3650円 (ミュージアム フォー シップス ☎03-3496-0481)

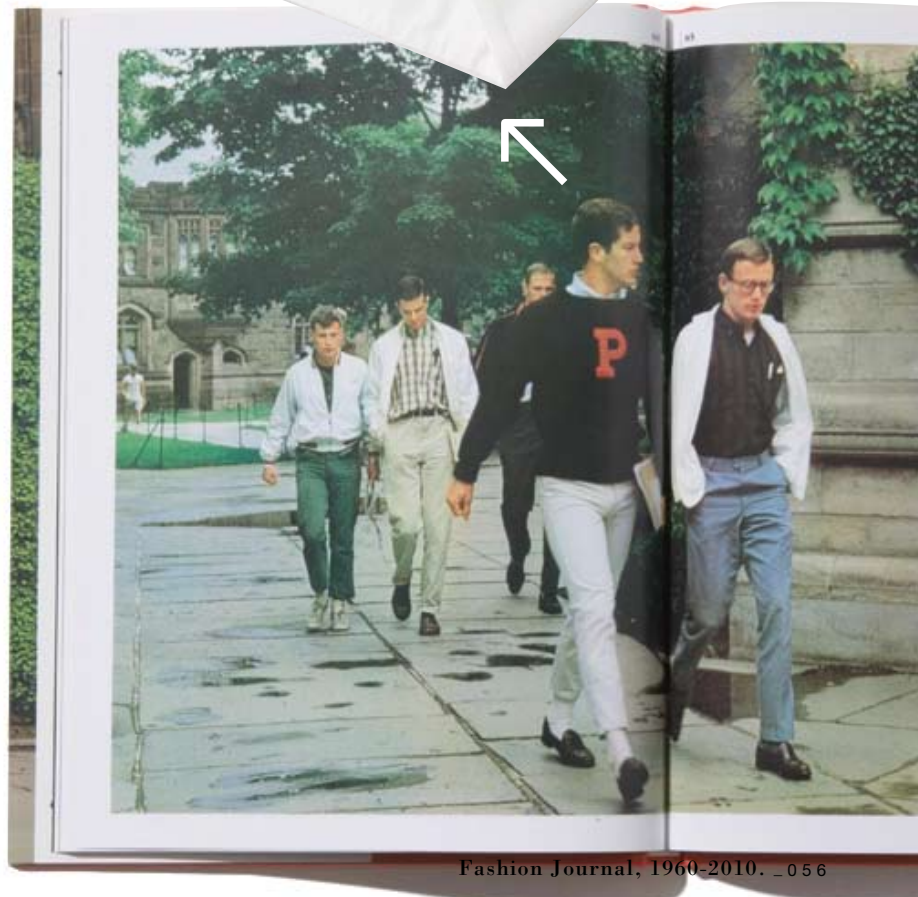
レタードが主張する愛校心。



主張あるレタードはアイビースタイルに相応しいアイテム。ボタンダウンをインナーにボトムスはトップスを引き立てる白。

ニット参考商品 / ヴァーシティーアスレチック (アイメックス ☎03-5291-7535)、シャツ1万8900円 / ウェイストトゥワイス (JAM TOKYO ☎03-5775-9595)、パンツ1万500円 / リーバイス (リーバイストラウス ジャパン ☎0120-099501)、シューズ2万9400円 / ジェラン・スリウアヤ (G MT ☎03-5453-0033)

本書によれば、この「Pのレター入りセーター」は運動選手だけに贈られるものとのこと (64頁より)



Fashion Journal, 1960-2010. _ 056



[IVY Item - 8]
チノーズ

カレッジスタイルに欠かせないボトムスといえば、チノーズをおいてほかにない。

ビルズカーキ

老舗ブランドが送るオーセンティックなシルエットの定番のチノーズ 1万4700円 (アイメックス ☎ 03-5291-7535)



ディストリクト

裾がダブルの細身のクロップドのチノーズ。1万4700円 (ディストリクト ユナイテッドアローズ ☎ 03-5464-2715)



ビームス プラス

折り返すとブラックウォッチのライニング が現れる。1万6590円 (ビームス プラス原宿 ☎ 03-3746-5851)



**ウールリッチ
ウーレン ミルズ**

ありそうでなかった太めながらテーパードシルエットの1本。2万8350円 (SSP. ☎ 03-5939-8128)



[IVY Item - 7]
アノラックパーカ

カンガルーポケットのイメージが強いが、アノラックは風雨をしのぐためのパーカの総称。

**バンド オブ
アウトサイダーズ**

ブランドの根源にクラシックなものがあることを示唆する1着。5万2395円 (原宿キャシディ ☎ 03-3406-3070)



ビームス プラス

60/40 クロスのフルジップパーカ。アノラックとマウンパのハイブリッド。3万1500円 (ビームス プラス原宿 ☎ 03-3746-5851)



ポストオーバーオールズ

生地感、ダブルのホワイトステッチと、ワークテイストを盛り込んだパーカ。3万5490円 (バク ☎ 03-3406-6117)



[IVY Item - 9]
ラガーシャツ

スポーツの盛んなアイビリーグだから、スポーツウエアはカジュアルに取り入れていた。

バーバリアン

カナダの老舗スポーツブランドが放つ、ヘビーオンスでクラシックなラガーシャツ。1万5540円 (グリフィンインターナショナル ☎ 03-5754-3561)



マイケル バスティアン

同ブランドがアイビーの影響を受けていることが伺い知れる1着。5万4600円 (ストラスブルグ ☎ 0120-383-563)



フランクリン マーシャル

イタリア目線でアメリカ・アイビーを解釈した答えとなるラガーシャツ。1万9950円 (原宿キャンディ ☎ 03-3406-3070)

「ラグビー・シャツ」と「ヨット・バルカ」のコーディネート。雨を楽しんでいるように見える (60頁より)



The Roots of the Seamen's Wear

とある服の海物語。

海と歩んだウェアの伝統を知る。

大海原を相手に戦ってきた男たちの服は
重くも暖かい歴史を歩んできた。
あの服がもつ知られざる伝統に耳を傾けてみよう。

Photo/N.Suzuki 鈴木規仁 T.Uchida 内田トシヤス S.Nomachi 野町周平
Text/G.Sekihara 関原元気

Pea Coat



Duffle Coat



Deck Jacket



**Fisherman's
Sweater**



From Military to Fashion

Holland

The Story of Pea Coat

ダブルブレストデッドの洗練された雰囲気、ウールメルトンのほつりとした素材感、行儀よく2列に並んだ大きな目のアンカーボタンなど、余計な装飾のないスラントポケット……。他のミリタリーウェアとは明らかに一線を画すデザインながらも、ミリタリージャケットとしての本分を忘れない機能性も持つジャケット、それがピーコートだ。

ピーコートの歴史は15世紀にさかのぼる。その頃のオランダでは、漁師や水兵は厚手の毛織物の防寒ジャケットを着用しており、ピーコートの原型ともいえるそのジャケットは「Pij Jekker」（ピーヤッケル、ピーエッケル）と呼ばれていた。単語に分解していくと、「ピー」とは粗い毛織物のことで、ラシヤ（羅紗）、つまりは縮絨加工を施した後に起毛させ、毛羽立たせた、メルトン仕上げの厚手ウールのこと。そして、ヤッケルあるいはエッケルは英語のジャケットのこと。ジャッやセーターの上に直接羽織るため、タイトなシルエットで作られており、ファッショニスタの高さから現在ではカジュアルジャケットとしての人気を高めている。その着用された経歴も、オランダ軍だけでなく、19世紀初頭にはイギリス海軍も艦上用の軍服として着用しているほか、フランス・ブルターニュ地方の漁師も愛用しているという。

さらに、その発祥はオランダだとされているが、我々が現在のファッショニストによく目しているピーコートは主に米海軍のミリタリーウェアとして採用されたジャケットをモチーフに作られたもの。現在でも古着を扱うショップでは米軍のヴィンテージ・ピーコートは人気を集めている。

デザイン的な観点で見ても、機能的なディテールやミリタリーウェアの中では抜群に洗練された印象を受けるダブルブレストッド仕様など、興味深い点が多い。左右どちらでもあわせられるダブルフロントはリーファーカーラーとも言い、風向きの変わりやすい船上での防風を考慮した実用的なディテールであり、幅の広いノッチドラペルも襟をたてれば首元の防寒性を高めてくれる。リーファーカーラーには、片方のボタンが破損しても、もう一方のボタンで留められるなどの利点もある。斜めに切りこまれたスラントポケットの袋布は、30〜60年代ごろまでの米軍のピーコートではコデューロイを採用するなど、ハンドウオーマーとしての機能を追及している。船の錨のマークを刻んだアンカーボタンも特徴的で、ヴィンテージ市場では、30年代以前に採用された13個の星があらわれた大きなボタンや、40年代以前に採用されたフロントボタンの数が10個の仕様などが珍重されている。もちろん、ミリタリージャケット特有の襟裏の補強、ジグザグステッチなども完備する。ヴィンテージ・ピーコートの多くは、防寒性を極限まで高めた重くて肉厚なダブルメルトン素材を採用する反面、袖通しを良くするためにライニングを施すなど、高い縫製技術を要する仕様なども見受けられる。

マリンスタイルの代表的なジャケットと聞けば、ともするとボーダー柄や白青などを配色の主とする、かわいらしいイメージすら抱かせるが、そのルーツや仕様、ディテールなどを鑑みれば、非常に武骨で男らしい服であることがわかるだろう。しかし、その風貌から、多くの人はミリタリーウェアとしては認識していないようで、女性からも高い人気を集めるジャケットである。左右どちらでも合わせられるリーファーカーラーの仕様は、男女兼用の学生用アウターとしても需要が高く、男女を問わず冬の登下校には欠かせないアイテムとして定着している。

海の男を艦上の厳しい寒さから守るための戦う服は、その機能的なディテールから男女兼用の学生服にまで広がり、そのデザインの完成度の高さから、ファッショナイトムとしても人気を集めることとなる。写真のフィデリティなどは、米軍への納入実績もあるほどの本格的なウェアブランドでありながら、ファッショニスタの高いショップでの人気を不動のものとしている。

さらに、現在のファッショニストではコットンやナイロンは言うに及ばず、レザーやシャツ地など、ウールメルトン以外の素材で作られたピーコートも多数存在し、定番のファッショナイトムとして多くのブランドが独自の解釈を加えてリリースしている。パーツごとに異なる色の素材を使ったクレイジーパターンや、ド派手なカラーリング、着丈の長さも極端に短いものから、ロングコート丈までそのバリエーションは様々である。ファッショニストとしてのピーコートは今後も進化していくことだろう。

ただし、これだけは忘れずにいて欲しい。マリンスタイルの代表格であるピーコートは、かわいく洗練されたジャケットであるだけでなく、海という大自然と闘う男たちの戦闘服が、そのルーツであることを。

The Roots of the Seamen's Wear

武骨でありつつも洗練されている。
相反する印象を内包したミリタリーウェア。

メイド・イン・USAにこだわり生産を続けるフィデリティは米海軍等のサープラスメーカーへの供給も行っている本格派。日本使用にサイズスペックを変更しておりファッション性も極めて高い。2万9400円(アイメックス ☎03-5291-7535)

The Roots of the Seamen's Wear



ショルダーバッグ

バッグもフィデリティが手掛ければ途端にマリン仕様に。32オンスの厚手メルトンのボディに、大きく描かれたイカりのトレードマークが映える。1万290円



ショールカラーコート

ショールカラーもまた、フィデリティが得意とするマリンウェアの代表的な仕様。24オンスのメルトンを使った上品なアウターに仕上がっている。2万8350円



ショートピーコート

短い丈に加え、細身のサイジングが日本人の体型にフィットする。取り外し可能なビンパッチは、ラベルまわりに付けるのがオススメ。2万7300円

C.P.O.ジャケット

左右の前身頃、フラップポケットで4色を使うクレイジーパターンながら、色味の統一と、袖と襟で色を整えているため、落ち着いた印象の1着に。2万5200円



リバーシブルダウンベスト

胸のフラップポケットにあしらわれたイカりのブランドワッペンがアクセントのダウンベストはリバーシブル。裏はオールブラック。1万8900円



C.P.O.ジャケット

ウールリッチ社のブラックウォッチ柄ファブリックを採用。アウター然としていないアイテムのため、気軽に羽織れる手軽さがいい。1万9950円

老舗マリンブランドの底力 フィデリティは ピーコートだけじゃない。

ピーコートの定番ブランドとして名高いフィデリティ。その技術力はバリエーション豊かなアイテムに注がれていました。

Text/H.Morohashi 諸橋宏
問い合わせ/アイメックス ☎03-5291-7535

定番のマリンアウターにして、今季大注目のピーコート。その定番ブランドとして、常に名があるのが、ボストンに本社を置くアウターメーカー、フィデリティだ。アメリカ製にこだわるリサイクルウールを使用したメルトン素材のピーコートは長きにわたり米海軍をはじめ多くのサーフラスメーカーへ供給されている。日本国内でも圧倒的な人気を誇る同ブランドだが、実はそのアイテムバリエーションの豊かさも群を抜いている。技術力が如何なく発揮されたアイテムはどれをとってもマリンの雰囲気満点。マリンスタイルのコーディネートに変化を加えたいなら、なにはさておきチェックしてみてほしいラインナップだ。

The Roots of the Seamen's Wear



ラベンハム

前面に配した4つのポケットがインパクト大。薄手ながら保温性にすぐれる起毛素材モールスキンを使用。5万2500円（渡辺産業プレスルーム ☎03-5466-3446）

ハロッズ

生地目を詰めながらもふっくらとした印象のハリス・ツイードはショート丈で。トッグルはトップのみの異端児。9万4500円（ハロッズ丸の内店 ☎03-5220-2613）



**マックレガー
バジドラゴン**

チェックボディに袖はカウレザー仕様。中綿にはデュボン社の多層構造素材、コンフォマックス・クラシックを使い保温性も向上。6万1950円（マックレガーバジドラゴン原宿店 ☎03-5778-9151）



フィデリティー

ロング丈のダッフルはより紳士的な見た目でありつつ防風・防寒性能も向上。スリムなボディがシルエットを美しく見せる3万7800円（アイメックス ☎03-5291-7535）



**マーガレット・
ハウエル MHL**

ミリタリージャケットを彷彿させるライトな雰囲気ながら防風性は十分。気軽に羽織れるダッフルの新しい提案だ。5万3550円（アングローバル ☎03-5467-7874）



武骨でありつつも洗練されている。
相反する印象を内包したミリタリーウェア。

From Military to Fashion

Holland

The Story of Pea Coat

ダブルブレストの洗練された雰囲気、ウールメルトンのほつりとした素材感、行儀よく2列に並んだ大きなボタン、シンカーボタンなど、余計な装飾のないスラントポケット……。他のミリタリーウェアとは明らかに一線を画すデザインながらも、ミリタリージャケットとしての本分を忘れない機能性も持つジャケット、それがピーコートだ。

ピーコートの歴史は15世紀にさかのぼる。その頃のオランダでは、漁師や水兵は厚手の毛織物の防寒ジャケットを着用しており、ピーコートの原型ともいえるそのジャケットは「Tij Jacket」（ビヤッケル、ビエツケル）と呼ばれていた。単語に分解していくと、「ビエ」とは粗い毛織物のことで、ラシャ（羅紗）、つまりは縮絨加工を施した後に起毛させ、毛羽立たせた、メルトン仕上げの厚手ウェアのこと。そして、ヤツケルあるいはエツケルは英語のジャケットのこと。シヤツやセーターの上に直接羽織るため、タイトなシルエットで作られており、ファッション性の高さを現在ではカジュアルジャケットとしての人気を高めている。その着用された経歴も、オランダ軍だけでなく、19世紀初頭にはイギリス海軍も艦上用の軍服として着用しているほか、フランス・ブルターニュ地方の漁師も愛用しているという。

さらに、その発祥はオランダだとされているが、我々が現在のファッショニングでよく目しているピーコートは主に米海軍のミリタリーウェアとして採用されたジャケットをモチーフに作られたもの。現在でも古着を扱うショップでは米軍のヴァインテージ・ピーコートは人気を集めている。

デザイン的な観点で見ても、機能的なディテールやミリタリーウェアの中では抜群に洗練された印象を受けるダブルブレスト仕立てなど、興味深い点が多い。左右どちらでもあわせられるダブルフロントはリーファーカーラーとも言い、風向きの変わりやすい船上での防風を考慮した実用的なディテールであり、幅の広いノッチドラベルも襟をたてれば首元の防寒性を高めてくれる。リーファーカーラーには、片方のボタンが破損しても、もう一方のボタンで留められるなどの利点もある。斜めに切りこまれたスラントポケットの袋布は、30〜60年代ごろまでの米軍のピーコートではコードデュロイを採用するなど、ハンドウォーマーとしての機能を追及している。船の錨のマークを刻んだアンカーボタンも特徴的で、ヴァインテージ市場では、'30年代以前に採用された13個の星があらわれた大きなボタンや、'40年代以前に採用されたフロントボタンの数が10個の仕様などが珍重されている。もちろん、ミリタリージャケット特有の襟裏の補強、ジグザグステッチなども完備する。ヴァインテージ・ピーコートの多くは、防寒性を極限まで高めた重くて肉厚なダブルメルトン素材を採用する反面、袖通しを良くするためにライニングを施すなど、高い縫製技術を要する仕様なども見受けられる。

マリンスタイルの代表的なジャケットと聞けば、とするとボーダー柄や白青などを配色の主とするかわいらしいイメージすら抱かせるが、そのルーツや仕様、ディテールなどを鑑みれば、非常に武骨で男らしい服であることがわかる。

だろう。しかし、その風貌から、多くの人はミリタリーウェアとしては認識していないようで、女性からも高い人気を集めるジャケットである。左右どちらでも合わせられるリーファーカーラーの仕様は、男女兼用の学生用アウターとしても需要が高く、男女を問わず冬の登下校には欠かせないアイテムとして定着している。海の男を艦上の厳しい寒さから守るための戦う服は、その機能的なディテールから男女兼用の学生服にまで広がり、そのデザインの完成度の高さを、ファッションアイテムとしても人気を集めることとなる。写真のフィデリティなどは、米軍への納入実績もあるほどの本格的なウェアブランドでありながら、ファッション性の高いショップでの人気を不動のものとしている。

さらに、現在のファッショニングではコットンやナイロンは言うに及ばず、レザーやシャツ地など、ウールメルトン以外の素材で作られたピーコートも多数存在し、定番のファッショニングアイテムとして多くのブランドが独自の解釈を加えてリリースしている。パーツごとに異なる色の素材を使ったクレイジーパターンや、ド派手なカラーリング、着丈の長さも極端に短いものから、ロングコート丈までそのバリエーションは様々である。ファッショニングとしてのピーコートは今後も進化していくことだろう。

ただし、これだけは忘れずにいて欲しい。マリンファッショニングの代表格であるピーコートは、かわいく洗練されたジャケットであるだけでなく、海という大自然と闘う男たちの戦闘服が、そのルーツであることを。

メイド・イン・USAにこだわり生産を続けるフィデリティは米海軍等のサープラスメーカーへの供給も行っている本格派。日本使用にサイズスペックを変更しておりファッション性も極めて高い。2万9400円（アイメックス ☎03-5291-7535）